

## 主題：キリストのパーソンは信者たちにとって何であるか

### メッセージ 1

#### 聖徒たちの分け前

聖書：コロサイ 1:12, I コリント 1:2, 9, 10:16-17

I. 「……聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父……」——コロサイ1:12：

A. キリストは首位でありすべてを含む方として、聖徒たちに割り当てられた分け前です——12節：

1. 割り当てられた分け前は、嗣業の分を指しています。それはカナンの良き地を割り当ててイスラエルの子たちに与え、彼らの嗣業とすることで例証されます——ヨシュア 14:1。

2. 新約の信者たちの割り当てられた分け前は、物質の地ではありません。それは命を与える霊としての、すべてを含むキリストです——コロサイ 2:6-7, ガラテヤ 3:14：

a. 良き地の豊富は、霊の中の信者たちに対する満ちあふれる供給としての、さまざまな面におけるキリストの計り知れない豊富を予表します——申 8:7-10, エペソ 3:8, ピリピ 1:19。

b. 地の豊富を享受することによって、キリストにある信者たちは建造されて、神の家また神の王国としてのキリストのからだとなります——エペソ 1:22-23, 2:21-22, I テモテ 3:15, マタイ 16:18-19, ローマ 14:17。

B. 神の目的は、神の選ばれた人を、すべてを含むキリスト（乳と蜜の流れる良き地で予表される）の享受の中へともたらすことです。乳と蜜は、動物の命と植物の命とのミングリングであり、キリストの命の二つの面、すなわち、わたしたちの法理的な贖いのための贖う面と、わたしたちの有機的な救いのための生み出す面です——出 3:8, 申 8:8, 26:9, ヨハネ 1:29, 12:24, ローマ 5:10。

II. 「コリントに在る神の召会へ、すなわち、キリスト・イエスの中で聖別された者たち、召された聖徒たち、それと共に、わたしたちの主イエス・キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての者へ、彼は彼らのもの、またわたしたちのものです」——I コリント1:2：

A. キリスト、すべてを含む方は、すべての信者たちのものです。彼は神によってわたしたちに与えられた、わたしたちの分け前です——コロサイ 1:12。

B. I コリント第 1 章 2 節で、「彼らのもの、またわたしたちのもの」は、どの場所でも状況でも、キリストがすべての信者の唯一の中心であるという事実を強調します。

C. I コリントが啓示しているのは、神がわたしたちにすべてを含むキリストを与え、わたしたちの享受のための唯一の分け前として、少なくとも二十の項目の

豊富があるということです—— 1:24, 30 節. 2:8, 10. 3:11. 5:7-8. 10:3-4. 11:3. 12:12. 15:20, 23, 47, 45。

D. 神は彼のエコノミーの中で、ひとりの方（彼の御子、主イエス・キリスト）が、すべての信者たちにとってすべてでなければならぬことを決定しました——マタイ 17:5. コロサイ 3:11。

E. 神のエコノミーの中で、神の目的は、キリストをわたしたちの分け前として与え、キリストをわたしたちの中へと造り込むことです——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19. エペソ 3:17 前半。

Ⅲ. 「神は信実です。この方を通して、あなたがたは彼の御子、すなわち、わたしたちの主イエス・キリストの交わりへと召されたのです」—— I コリント 1:9 :

A. 神がわたしたちを彼の御子の交わりへと召されたのは、わたしたちがキリストにあずかり、彼を神の与えられた分け前として享受するためです。

B. 神はわたしたちをすべてを含むキリストの交わり、彼をあずかることへと召されました。すべての信者は彼に焦点づけられるべきであり、どんな賜物を持つ人によっても、どんな過度に強調された教理によっても、どんな特定の実行によってもそらされるべきではありません。

C. 交わりは、わたしたちとキリストが一となっていることを意味します—— 6:17 :

1. わたしたちは一の中へと召されました。その一の中でわたしたちは彼と一であり、また彼もわたしたちと一です。

2. 第 6 章 17 節の「結合される」という言葉は、第 1 章 9 節の「交わり」という言葉と同義語です。結合することは実は交わりです。

3. わたしたちが主と一であるときはいつでも、わたしたちはキリストの交わりの中におり、彼をすべてを含む方として経験します。

D. 交わりが意味するのは、わたしたちがキリストと彼であるすべてを享受し、また彼がわたしたちとわたしたちであるすべてを享受するということです——ピリピ 1:18. 2:17-18, 28. 3:1. 4:4, 10 :

1. わたしたちは円熟へと召されました。その円熟においてわたしたちは神の御子が何であるかを享受し、彼はわたしたちが何であるかを享受します。

2. この交わりが暗示するのは、すばらしい、宇宙的な、相互の享受です。それは、わたしたちが三一の神を享受し、三一の神がわたしたちを享受することであり、また信者たちが互いに対して持つ享受です。

E. キリストの交わりは、使徒たちの交わりとなり、召会であるキリストのからだの中でキリストにある信者たちに分け与えられます——使徒 2:42. I ヨハネ 1:3 :

1. これは、わたしたちが彼の食卓において、彼の血と彼のからだにあずかるときに享受する交わりです—— I コリント 10:16, 21 :

a. 主の食卓の強調点は、彼の血と彼の体の交わり、主にあずかること、相互性の中で、交わりの中で主を享受することです—— 16-17, 21 節。

b. 主がご自身をわたしたちに与えたのは、わたしたちが彼を食べ飲みするこ

とによって、彼にあずかり、彼を享受するためです。

c. このすばらしいキリストはわたしたちにとってすべてであり、わたしたちの享受のためです。彼であるすべては、わたしたちがあずかり、享受するためです—— 1:9。

2. この交わりは、わたしたちと三一の神との間の一を含むだけではなく、すべての信者の間の一も含みます-ヨハネ 17:21-23. エペソ 4:3。

F. 交わりはまた信者たちの間の相互の流れを暗示します—— I ヨハネ 1:3 :

1. 新約において交わりは、わたしたちと主との間の流れと、わたしたちの相互の間の流れの両方を描写しています——ピリピ 2:1。

2. わたしたちの霊的な交わりにおいてわたしたちが持つ流れ、水流は、一と命の両方を含みます。わたしたちの交わりは一の流れです。

3. この交わりは召会生活の実際です—— I コリント 1:2, 9。

